



平成27年12月3日

各 位

会 社 名 株式会社ワンダーコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 日下 孝明
(JASDAQ・コード番号: 3344)
問合せ先 取締役 管理部長 塚田 英雄
(TEL: 029-853-1313)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年4月2日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成28年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 81,400	百万円 350	百万円 420	百万円 30	円 銭 5.63
今回修正 (B)	78,500	△ 630	△ 560	△ 500	△ 93.79
増減額 (B-A)	△ 2,900	△ 980	△ 980	△ 530	—
増 減 率	△3.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年2月期)	83,898	168	371	△ 113	△ 21.06

2. 修正の理由

平成28年2月期連結累計期間の業績予想の売上高につきましては、新星堂事業の音楽・映像ソフトの販売において、新規出店店舗の想定来店客数が出店地域での認知度不足等により大幅未達となり、当初の売上計画を下回る見込みとなったことや、ヒット商品及び主力アーティストの新譜の減少、WonderG00事業のゲームソフト販売不振などにより、予想を下回る見通しとなりました。

営業利益及び経常利益につきましては、WonderG00事業については販売管理費の削減により概ね計画どおり推移する見込みですが、新星堂事業においては、下期に賃料等の物件費削減や、不採算店舗の閉店、本部経費の削減等を図ることにより黒字化を見込んでいたものの、上記理由による売上高減少に伴う売上総利益高の減少や計画外の中古トレーディングカード売場を導入するための店舗改装による一時経費の増加等により予想収益が約3億8千万円下回る見込みとなりました。さらに売上減少及び退店店舗の増加に伴い商品回転率の低下が見込まれるため、滞留在庫の評価損が下期において約6億円発生する見込みであります。

当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益の修正理由により約5億3千万円の減少となる見込みであります。以上により、平成28年2月期連結累計期間の業績予想を修正するものであります。

また、当社は、当社の子会社である株式会社新星堂との間で合併を行うことを予定しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「株式会社ワンダーコーポレーションと株式会社新星堂の合併契約締結に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成28年2月期の決算短信の数値につきましては、株式会社新星堂との合併後の数値となります。

(注)本業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上